

## 第1回 第3期中海自然再生協議会 議事録

日時 平成23年5月28日(土) 14:30~17:00

場所 くにびきメッセ 501会議室 (松江)

第3期の協議会発足を記念して、環境省自然再生専門家会議委員長の辻井 達一先生をお迎えして午後1時から2時半までシンポジウムを行うこととしたことから、第3期第1回の協議会はシンポジウムに引き続き松江で開催した。シンポジウムでは「これからのラムサール登録湿地のありかたー中海・宍道湖の自然再生と賢明な利用ー」と題して辻井先生の基調講演があり、ベネチアのコマッキオ湖やインドのチリカ湖などの例を初めとして先生の世界的な視野からの経験が語られました。宍道湖・中海についてはラムサールへの登録が水鳥の保全だけを課題としていていると考えている人が多いようだが、ラムサールでは鳥は影が薄くなっていて、バルセロナ大会の公式ポスターからは姿が消えていること、目標がより幅広くなってきていること、道頓堀をラムサールに登録する意見、インドネシアでは毎年2千万羽が地元の人々の食糧となっていることをどのように考えるのか・・・が話題となっていることなどが情熱的に語られ、討論がなされた(詳しくはホームページ参照)。

次いで、第三期のスタートとなる協議会が以下のように行われた。

### 議事 (14:30~17:00)

#### 1) 第3期協議会委員の紹介および専門委員の承認

事務局から会長への立候補について参加者に諮ったところ、立候補がなかったことから、事務局から会長として中尾 繁氏が推薦され、異議無く承認された。次いで、同様の手続きで会長代理に熊谷昌彦氏が推薦され、異議無く承認された。その後、中尾会長と熊谷会長代理の挨拶があり、中尾会長の司会のもとで議事が進められた。

専門委員については事務局から第2期の委員からの継続を考慮した上で候補者としてお願いした経緯が説明された上で候補者名簿が示され、異議無く承認された。公募委員については応募された方々の名簿が示され、承認された。人選がなされた。また、各行政・公共団体からの委員についてはそれぞれから提出された委員の名簿が紹介された。ついで、新しく委員になられた方々からの自己紹介があり、第三期協議会がスタートすることとなった。

#### 2) 今後の進め方についての自由討議

國井事務局長から平成 23 年度地域生物多様性保全活動支援事業（前年度からの継続）について、海藻の資源量と利用などについての調査研究とともに、自然再生実施計画をつくることが目的であることが説明された。NPO 法人自然再生センター徳岡理事長からは鳥取・島根両県の「中海の海藻刈りによる栄養塩循環システムモデル構築業務」について自然再生センターと NPO 法人未来守りネットワークなどによる海藻農法普及協議会の 2 つが採択され、改訂された実施計画の 1 つである「海藻類の回収および回収海藻の利用事業」に向けて実質的な活動がこれから進むことが紹介され、弓浜承水路についての調査計画についての説明が渡部委員から説明された。

### 3) 前年度に提出された実施計画案をもとにした討議と今後のスケジュール

改訂された実施計画案の一つである「浚渫窪地の環境修復事業」について相崎委員から三年間にわたった環境省環境総合推進費にもとづく産業副産物を用いた浚渫窪地の埋め戻しについて詳しい調査を行った細井沖窪地での調査にもとづく実施計画案策定にむけた試案（窪地に発生する貧酸素水塊が浅場造成にも影響することを考慮すべきであること、凹地全体を産業副産物（石炭灰造粒物）を使って全面的に覆う試行試験は予算的な裏づけがあれば実施が可能であることなど）が紹介された。

参加委員からは、討議の進め方について、第 2 期の協議会で 4 つの実施計画案にまとめられたことについて、分かりにくい点があること、4 つのテーマだけについて今後は討論を進めるのかなどの疑義が出された。これらについて國井事務局長から法定協議会として環境省の下にある専門家会議の承認を得る必要があることから、協議会として承認した 9 つの実施計画案についてあらかじめ意見を求め、それにもとづいて 4 つの実施計画案にまとめなおした経緯について説明がなされ、改訂された 4 つの案については今後アドバイザー会議の意見もききながら、今後、協議会としてさらに練って行くことが説明された。

### 4) その他

次回の協議会を 8 月 6 日（土）13 時~17 時として開催することとした。なお、國井事務局長から日本生態学会が例年企画している自然再生講習会があり、松江での開催が検討されていることから、この行事と合わせて行うこととし、中海の自然再生についても意見もいただく機会にしたいとの説明があった。

最後に 1、2 期の会長を勤められた高安委員からの挨拶を受け、会を終了した。

（以上）